

■ 第8回子吉川水系河川整備学識者懇談会 議事概要 ■

日時：令和元年12月2日(月) 14:00~16:00

場所：秋田河川国道事務所 大会議室

(発言者)	●：委員
	○：事務局

1. 議事

(1) 子吉川直轄河川事業の事業再評価について

- 事業に際して、実際に環境に配慮しているという内容を残しておくことが重要だと思います。
- 河道掘削にあたり、事業中の水質への配慮事項やモニタリングデータがあれば示してほしい。
- 河川は氾濫しやすいものであるという前提で、ある程度氾濫を意識しながらまちづくりをしていくということもありますので、もうちょっと長いスパンで、あり方として考えてみた方が良いでしょう。
- 今回の豪雨(台風19号)を受けても、やはり氾濫は発生するものとの意識を持ち、関係機関が連携して対策を強化する必要があると思います。
今後も随時情報提供させていただきます。
- これまでの公助主体の避難行動計画から共助、それから自助といった避難者自体の行動力の醸成を図られるような取り組みを行っているということがよくわかった。

(2) 意見のまとめ

- ・引き続き事業を継続することは妥当である。

(3) 対応方針(原案)

「子吉川流域における治水対策の必要性、重要性に変化はなく、事業の投資効果も確認できることなどから、事業を継続することが妥当と考えます。」